

# 令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2	
年組	1年 2・3組		教科書(発行所)	情報 I 図解と実習(日本文教出版)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目
			知	思	態	
4	情報社会を見渡してみよう	SNSの普及と情報モラル 情報社会を支える法律 情報通信技術で変わる社会	○	○	○	<b>学習の目標</b> 情報機器を活用して適切な情報収集や発信ができる実践力を身に付ける。情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について科学的に理解する。情報モラルを身につけて適切に情報社会に参画する態度を養う。
5	メディアとコミュニケーション	コミュニケーションとメディアの変遷 コミュニケーション手段の多様化 ネット上のコミュニケーションの特徴	○	○	○	
6	情報デザイン	ソーシャルメディアの活用と注意点 情報デザインの基本を見てみよう 情報デザイン	○	○	○	
7		情報を伝えるさまざまな手段 誰にとってもわかりやすい情報デザイン 情報デザインの流れ	○	○	○	
7		体育祭のポスターをデザインしてみよう			○	
8	情報のデジタル化	デジタルデータと2進法 文字・音のデジタル化のしくみ 画像のデジタル化のしくみ	○	○	○	
9	コンピュータのしくみ	動画のデジタル化のしくみ 圧縮のしくみ コンピュータの基本的な構成	○	○	○	
10	アルゴリズムとプログラム	CPUとメインメモリ CPUの演算のしくみ ものごとの手順とアルゴリズム アルゴリズムを図式化してみよう フローチャートであらわしてみよう	○	○	○	
11		プログラムとプログラミング言語 プログラムの基礎を体験してみよう プログラムの構造	○	○	○	
12		プログラムを改善するときの考え方 プログラミングスタイルの変化	○	○	○	
12	モデル化とシミュレーション	モデル化とは モデルを利用した問題解決	○	○	○	<b>学習の方法</b> 家庭学習ではサブノートによる学習が中心となる。定期考査の問題は主にサブノートからの出題となる。学校において実習課題に取り組むさいに、時間内で終わらないこともある。そのさいはタブレットを用いて家庭で続きをする場合があるし、インターネット教室を放課後等の時間に利用することもできる。
1	情報通信ネットワーク	モデルを使ったシミュレーション 情報通信ネットワークのしくみ IPアドレスとプロトコル	○	○	○	
2	情報システム データの活用	WWWと電子メール 個人認証と暗号化 情報サービスを支える情報システム データベース	○	○	○	
3	一年間のまとめ	データの活用とデータモデル データの収集 データ分析 さらに深く学ぶために	○	○	○	
<b>【備考】</b> ※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						<b>評価の観点</b> <知識・技能> 情報と情報技術を問題の発見や解決に活用するための知識について理解し、技術を身に付けているとともに、情報化の進展する社会と人間の関わりについて理解している。 <思考力・判断力・表現力> 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見や解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 <主体的に学習に取り組む態度> 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見や解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価して改善しようとしている。
						<b>評価の方法</b> 実習点として、提出された実習課題やサブノート、授業態度等をみて100点満点で点数を付ける。考査の点数と実習点を合わせて各学期の成績とする。(考査50%、実習50%)